



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxlev.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼人材開発室長 (氏名) 井手 是幸

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日

TEL 06-6376-8088

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,117	△5.6	343	63.8	667	18.5	469	27.5
26年3月期第2四半期	25,535	△5.9	209	△26.7	563	△3.4	368	△6.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 491百万円 (28.8%) 26年3月期第2四半期 381百万円 (△10.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	47.02	—
26年3月期第2四半期	36.87	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、26年3月期第2四半期については潜在株式が存在しないため、27年3月期第2四半期については希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	37,624		18,367		48.1	1,814.00
26年3月期	37,780		18,015		47.0	1,779.13

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 18,113百万円 26年3月期 17,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△2.1	1,050	71.2	1,550	15.8	1,080	△47.8	108.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	11,025,032 株	26年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,039,857 株	26年3月期	1,039,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	9,985,175 株	26年3月期2Q	9,985,339 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向にあるものの、円安による原材料価格の上昇など消費活動を抑制する要因もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化する消費者のニーズに対応するための顧客満足度向上に注力し、店舗従業員の接客マナー向上研修や商品開発、メニューのリニューアルを進めてまいりました。また、店舗管理事業で安定収益を確保するとともに、店舗委託事業においても積極的な新規出店・優良物件の仕入を進めてまいりました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高241億17百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益3億43百万円（前年同期比63.8%増）、経常利益6億67百万円（前年同期比18.5%増）、四半期純利益4億69百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。また、多様化するニーズにお応えすべく、「ハンバーグ弁当」「特唐揚げ弁当」など定番メニューのリニューアルなどを行う中、前回、好評をいただいた人気アニメ「進撃の巨人」とのキャンペーン第2段として「進撃の巨人弁当」を発売するとともに、弁当の宅配サービス事業「ほっか食楽」について、取扱地域の拡大を図っております。また、お客様にとって「価値」のある商品、サービスの提供に努めるとともに、店舗運営形態の変更に取り組み、収益力の向上に努めてまいりました。

持ち帰り弁当事業の売上高は108億88百万円（前年同期比6.6%減）、営業利益は7億5百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、優良物件を仕入れるため居抜き物件検索サイトである「テナポボックス」を強化、開拓エリアの拡充に注力し、新規出店を加速させてまいりました。

しかしながら、転貸店舗の大規模な撤退によるストック収入の減少の影響が大きく、店舗委託事業の売上高は110億15百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は67百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、かねてより進めておりました当社保有物件のリーシング活動に注力した結果、新規安定収益を獲得することができました。また、ビルオーナーに対してのビル管理受託事業の新規開拓へのアプローチにも努めた結果、顧客獲得に至り、その結果、店舗管理事業の売上高は3億16百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は1億89百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

④店舗直営事業

店舗直営事業においては、「江戸前びっくり寿司」及び「廻転びっくり寿司」は、より多くのお客様にご来店頂き、快適なお食事を召し上がって頂くため、空調設備の入れ替え等の店舗改装を進め、お客様よりご好評を頂いている「ご当地フェア」を引き続き展開しております。

しかしながら、再開発等による店舗の閉店・撤退の影響は大きく、来店客数においても前年対比減少となりました。その結果、店舗直営事業の売上高は7億37百万円（前年同期比29.9%減）、営業利益は1百万円（前年同期比96.3%減）となりました。

⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、引き続き新商品・リバイバル商品の提案に力を入れております。また、クルミ&クランベリーやシチューを使ったハード系商品の展開や、さつまいも・栗など季節ごとに期間限定商品を販売し、ご好評をいただいております。

物流関連事業につきましては、既存インフラの強化とともに、グループ外の企業向けに事業の拡大を推進しております。

その他の事業の売上高は、11億58百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は22百万円（前年同期は営業損失54百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少し、376億24百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が5億8百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1億95百万円、建物等の有形固定資産が2億93百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円減少し、192億56百万円となりました。主な要因として、未払消費税等が1億50百万円増加しましたが、1年内返済予定長期借入金が1億円、長期借入金が5億25百万円、負ののれんが1億36百万円減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ3億52百万円増加し、183億67百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の47.0%から1.1ポイント上昇し、48.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ3億円増加、前連結会計年度末と比べ5億8百万円増加して60億23百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ3億円増加し16億51百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額1億27百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上6億38百万円、減価償却費の計上5億79百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億45百万円（前年同期は6百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入84百万円、長期貸付金の回収による収入23百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出4億13百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ1億75百万円減少し8億97百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出6億26百万円、配当金の支払額1億39百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,516,093	6,024,465
受取手形及び売掛金	2,141,935	1,946,000
有価証券	14,265	3,756
商品及び製品	530,718	478,731
原材料及び貯蔵品	110,536	100,425
繰延税金資産	140,530	126,620
その他	882,095	881,407
貸倒引当金	△91,105	△49,306
流動資産合計	9,245,068	9,512,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,204,206	6,948,038
機械装置及び運搬具（純額）	102,863	93,364
工具、器具及び備品（純額）	379,137	388,046
土地	12,194,216	12,163,946
リース資産（純額）	127,723	107,977
建設仮勘定	16	13,000
有形固定資産合計	20,008,164	19,714,373
無形固定資産		
のれん	175,462	156,341
その他	171,173	156,975
無形固定資産合計	346,636	313,316
投資その他の資産		
投資有価証券	1,503,972	1,535,644
長期貸付金	250,687	240,020
敷金及び保証金	5,605,011	5,605,360
繰延税金資産	152,780	144,903
長期未収入金	1,528,747	1,479,846
その他	709,547	672,551
貸倒引当金	△1,569,830	△1,594,030
投資その他の資産合計	8,180,917	8,084,296
固定資産合計	28,535,717	28,111,986
資産合計	37,780,785	37,624,087

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,357,361	2,452,815
短期借入金	664,672	636,676
1年内返済予定の長期借入金	1,240,440	1,140,000
未払金	878,381	832,953
未払法人税等	158,387	184,949
未払消費税等	49,191	199,333
賞与引当金	185,476	173,152
その他	1,688,652	1,724,326
流動負債合計	7,222,561	7,344,207
固定負債		
社債	57,500	40,000
長期借入金	7,755,265	7,229,415
退職給付に係る負債	43,037	43,511
負ののれん	272,978	136,489
長期預り保証金	3,399,699	3,470,327
繰延税金負債	368,917	368,732
資産除去債務	354,765	361,862
その他	290,765	262,165
固定負債合計	12,542,928	11,912,504
負債合計	19,765,490	19,256,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	11,254,142	11,583,786
自己株式	△1,515,246	△1,515,246
株主資本合計	17,706,362	18,036,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,552	77,110
その他の包括利益累計額合計	58,552	77,110
新株予約権	—	540
少数株主持分	250,379	253,717
純資産合計	18,015,294	18,367,375
負債純資産合計	37,780,785	37,624,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	25,535,070	24,117,196
売上原価	19,545,886	18,357,206
売上総利益	5,989,184	5,759,989
販売費及び一般管理費	5,779,708	5,416,829
営業利益	209,475	343,160
営業外収益		
受取利息	7,474	4,337
受取配当金	4,230	4,482
受取賃貸料	116,615	104,744
負ののれん償却額	152,072	136,489
業務委託契約解約益	85,059	56,503
持分法による投資利益	9,399	10,519
その他	130,162	96,505
営業外収益合計	505,014	413,580
営業外費用		
支払利息	56,351	32,358
賃貸費用	28,940	24,142
業務委託契約解約損	11,857	8,731
訴訟費用	3,780	2,441
その他	50,007	21,321
営業外費用合計	150,937	88,995
経常利益	563,552	667,745
特別利益		
固定資産売却益	31,536	7,166
投資有価証券売却益	4,904	—
受取和解金	457	750
受取保険金	—	25,994
その他	1,660	—
特別利益合計	38,558	33,910
特別損失		
固定資産除却損	158,354	25,008
固定資産売却損	349	12,494
投資有価証券売却損	—	857
投資有価証券評価損	—	5,300
減損損失	18,809	12,724
その他	12,141	7,174
特別損失合計	189,655	63,559
税金等調整前四半期純利益	412,455	638,097
法人税、住民税及び事業税	116,406	151,417
法人税等調整額	△81,613	14,278
法人税等合計	34,793	165,695
少数株主損益調整前四半期純利益	377,662	472,401
少数株主利益	9,469	2,873
四半期純利益	368,192	469,528

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	377,662	472,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	360	14,815
持分法適用会社に対する持分相当額	3,513	4,207
その他の包括利益合計	3,874	19,023
四半期包括利益	381,536	491,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,066	488,086
少数株主に係る四半期包括利益	9,469	3,337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	412,455	638,097
減価償却費	705,079	579,432
のれん償却額	△129,265	△115,225
固定資産売却損益(△は益)	△31,186	5,327
固定資産除却損	158,354	25,008
減損損失	18,809	12,724
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,904	857
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,300
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△139,547	△17,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,334	△12,323
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,495	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	474
受取利息及び受取配当金	△11,705	△8,819
支払利息	56,351	32,358
持分法による投資損益(△は益)	△9,399	△10,519
売上債権の増減額(△は増加)	15,258	195,935
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,466	62,097
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,554	95,453
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,439	150,142
その他	456,788	137,684
小計	1,456,459	1,776,406
法人税等の支払額	△122,607	△127,936
法人税等の還付額	16,982	2,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,350,835	1,651,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	11,720	9,242
有形固定資産の取得による支出	△315,676	△413,270
有形固定資産の売却による収入	100,663	84,454
有形固定資産の除却による支出	△57,934	△4,995
無形固定資産の取得による支出	△747	△10,390
無形固定資産の売却による収入	178	117
投資有価証券の売却による収入	80,000	9,128
短期貸付金の純増減額(△は増加)	2,016	△188
長期貸付けによる支出	△4,842	△11,815
長期貸付金の回収による収入	20,518	23,708
関係会社株式の取得による支出	△709	△152
差入保証金の純増減額(△は増加)	98,399	41,460
その他	72,871	27,387
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,458	△245,311

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△56,492	△32,536
短期借入金の純増減額(△は減少)	△18,000	△27,996
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△861,152	△626,290
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
自己株式の取得による支出	△114	—
配当金の支払額	△100,185	△139,831
リース債務の返済による支出	△37,407	△27,904
その他	△82,892	△25,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,073,744	△897,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,297	255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	284,847	508,371
現金及び現金同等物の期首残高	5,437,724	5,515,080
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,722,571	6,023,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	11,659,687	11,345,318	282,954	1,051,361	24,339,320
セグメント間の内部売上高又は 振替高	124,611	25,338	—	5,000	154,949
計	11,784,298	11,370,656	282,954	1,056,361	24,494,270
セグメント利益又は損失(△)	694,692	112,244	162,147	54,319	1,023,403

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,195,749	25,535,070	—	25,535,070
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,463,267	1,618,217	△1,618,217	—
計	2,659,017	27,153,288	△1,618,217	25,535,070
セグメント利益又は損失(△)	△54,670	968,733	△759,257	209,475

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△759,257千円には、セグメント間取引消去△28,582千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△730,674千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,888,816	11,015,797	316,682	737,222	22,958,518
セグメント間の内部売上高又は 振替高	114,822	17,897	—	—	132,719
計	11,003,638	11,033,695	316,682	737,222	23,091,238
セグメント利益	705,613	67,621	189,891	1,998	965,124

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,158,677	24,117,196	—	24,117,196
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,358,233	1,490,953	△1,490,953	—
計	2,516,911	25,608,150	△1,490,953	24,117,196
セグメント利益	22,872	987,997	△644,837	343,160

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△644,837千円には、セグメント間取引消去△13,756千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△631,080千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。